

特集

各分野で活躍するみなさん推薦

とっておきの、 とやまデザイン30

さまざまな分野で活躍する県内外30人のみなさんが、
お気に入りの「とやまデザイン」をセレクト。
今回選ばれた幅広いジャンルのデザインから見えてくるのは、
富山の人々のものづくりへの情熱であり、意識の高さ。
長い歴史や伝統、文化、そして技術を背景に、
それらを磨き続け、いまの時代に合わせて再編集されたものたち。
日常使いの道具の一つひとつに、思いを込めて、
あたらしい時代の「とやまデザイン」が、ここから見えてくる。

● 県内より ● 県外より

01 大澤 寛

CHILLING STYLEオーナー



トムスマ×(株)能作「てのりごちさん。」

異色のコラボアイテムです。てのりごちさんを通じて自分と向き合い、錫の清浄感が心も綺麗にしてくれる。便利とかフォルムとか超越した、てのりごちさんだけの世界感にただただ驚いたのです。日本人独特の精神性がふんだんに盛り込まれています。何にも似ていない独特なアイテムです。
<http://www.nousaku.co.jp/> <http://www.tomsuma.jp/>

おおさわ・ひろし／富山市民プラザで雑貨店「CHILLING STYLE」を運営。和のもつ居心地の良さや北欧が持つ高いデザイン性を融合する。をテーマに雑貨をセレクト、販売しています。最近個人活動で北欧の皿をシェアする「北欧長屋ノ会」も始めました。

02 Shimoo Design

下尾和彦、下尾さおりによる
ユニット家具作家



山崎義樹氏 真鍮鑄物の朱肉入れ「紋」

今ではスタンパ式の判やプラスチック製の朱肉入れも主流だが、大きな契約時や大切な判を押すときにはやはり良い道具を使いたいものだ。真鍮の心地のいい重感、日本の「家紋」をモチーフにしている上品なデザインがとても美しい。判を押すという単純な行為だが、道具が良ければ気分もいい…
<http://blockdesign.info/>

しもおでざいん／互いに家具作りの修行を経て、富山市八尾町にアトリエを設立。「美しい道具」をコンセプトに、日本の文化や美意識を現代のライフスタイルに落とし込むことを目的としている。あくまでもMADE IN JAPANを基本に、流行や時代を感じさせない「日本の美」を追求する。

03 能作 幾代

nousaku 店主
能作建築設計事務所 主宰



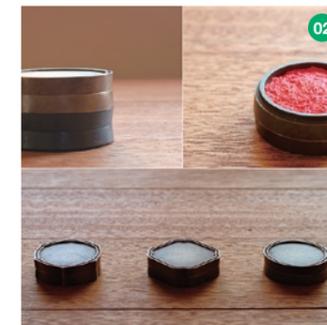
高岡クラフト展の作品

「ものづくり」の街「高岡」ではデザインに触れる場が多くある。26年もの歳月を重ねた「高岡クラフト展」もその一つ。クラフト展で、眼にかなったとっておきのデザインの作品を買いたい、日常で使うことが楽しみとなっている。
<http://www.ccis-toyama.or.jp/takaoka/craft/>

のうさく・いくよ／ドレスメーカー、チーズプロフェッショナル、インテリアコーディネーター、一級建築士。「衣・食・住」を通して、日々の暮らしを楽しんでいる。



01



02



03



04



05



06

04 宮田 裕美詠

スライド グラフィックデザイナー



五郎丸屋「干支の薄氷」

味覚や食感はもちろんのこと、美しさや楽しさのある洗練されたデザインも魅力。250年の歴史がある「薄氷」をベースに、干支をテーマに展開。今回初めて天然の材料で風味付けされており、進化し続けるところもまた素晴らしい。
<http://www.usugori.com/>

みやた・ゆみよ／富山市生まれ。第52回富山県デザイン展【県知事賞】、TOYAMA ADC2012【グランプリ】、第54回全国カタログ・ポスター展【日本印刷産業連合会会長賞】、2013年【JAGDA新人賞】などを受賞。

05 折井 宏司

(有)モメンタムファクトリー・Orii
代表取締役



樽蔵産業(株) 寒中樽仕込かぶら寿しパッケージ

まず…インパクトがある！購買欲を引き立たせている。ブランドイメージが確立されたデザインであると感じた。いいモノを職人として作り続けられたい！と思っていた自分に、パッケージやブランドイメージのデザインも考える良いきっかけになった。【デザイン：中山真由美】
<http://www.taruzo.jp/>

おりい・こうじ／1970年高岡市生まれ。高岡銅器の伝統的着色技法を応用し、銅板・真鍮板・鉄板へ新たな発色を確立。内壁素材・インテリア・エクステリア用品・クラフト作品など様々な分野に提案を広げている。

06 でこりん(炭岡里央)

似顔絵やさん/イラストレーター



食とワインのフェスティバル EAT WINE! TOYAMA 2012 ポスター

ワインがすっごく綺麗な色をしているので、美味しそう！のみたーい！が第一印象でした。それからなんで歯なのか気になって、ついつい詳細を調べてしまいました。人に興味をもってもらえるデザインができる人って、すごいなあ！【デザイン：後藤耕太】
<http://blog.goo.ne.jp/eatwinetoyama1234>

でこりん／高岡市生まれ。イベントにて似顔絵やさんを出店。ほか、ウェルカムボード製作やイラスト製作を行っています。図工女子1期生。

07 石井 陽一

アイアンオー(株)代表取締役



楽翠亭美術館 シンボルマーク

初めて見た時、佐藤可士和さんのデザインだと思った。漢字をモチーフにしたマークが、あまりにも美しかったから。モダンでありながら、漢字の味わいがある。世界と日本の融合という、同館のコンセプトにも通じる。<http://www.rakusuitei.jp/>

いしい・よういち／広告会社のコピーライターを経て、1982年広告制作会社を設立。富山コピーライターズクラブ代表委員、富山県広報デザインアドバイザー、富山県特産品アドバイザーなど。

08 松井 紀子

株松井機業



株山口久乗「優凜シリーズ どれりん遊」

「久乗おりん」と出会ってから「音」というものの身体に対する影響を改めて実感するようになりました。「おりん」が奏でる自然界の音と同じ1/fのゆらぎは芯から癒してくれます。[デザイン:磯野梨影]
<http://www.kyujo-orin.com/>

まつい・のりこ／富山県砺波市にある明治創業の松井機業の三女として生まれる。2010年にUターンして以降、城端絹の魅力を広めるため、時代に合った商品を次々と開発し、注目を集めている。

09 山崎 義樹

プロダクトデザイナー



FUTAGAMIのプロダクト

人生において、転機となるデザインに出会う瞬間があると思います。FUTAGAMIは僕にとってまさにソレでした。人が見えるデザイン、手の跡が見えるデザイン。出会えたことに感謝したい、そんな「とやまのデザイン」です。[デザイン:大治将典]
<http://www.futagami-imono.co.jp/>

やまざき・よしき／1976年富山県生まれ。2011年「BLOCKDESIGN」設立。ブロックをちょっとずつ積み重ねながらデザイン。かわさき産業デザインコンペ2012グランプリ。

13 濱田 修

濱田修建築研究所 代表取締役



陶芸家 釈永由紀夫氏の作品

豊かな自然の静寂さと厳しさを併せ持つ立山の風土が陶芸に吹き込まれていて、移ろう気候が目に見えて感じられます。見る人たちの心を立山へと導く作品ばかりです。
<http://shakunaga.jimdo.com/>

はまだ・おさむ／1961年魚津市生まれ。84年近畿大学理工学部建築学科卒業。87年石井和雄建築研究所。93年濱田修建築研究所設立。2010年金沢工業大学非常勤講師。06年日本建築学会作品選奨(福野の家)。08年グッドデザイン賞中小企業庁長官特別賞(そば義文)

14 中山 真由美

㈱ファイン・プロジェクト
アートディレクター/グラフィックデザイナー



山崎義樹氏 真鍮鑄物の朱肉入れ「紋」

高岡市でのイベント「金屋楽市」で見えて一目惚れ。美しく繊細、モダンなフォルム。富山産の製品もデザインは県外というケースが多いなか、職人と向き合い、一からスタートし作り上げて、ソフトが地元へ根づく点も好感が持てますね。
<http://blockdesign.info/>

なかやま・まゆみ／「富山をデザインで元気にする！」がモットー。デザイン担当の「越中富山お土産プロジェクト 幸のこわけ」は、2011年度GOOD DESIGN賞を受賞。

15 羽根 由

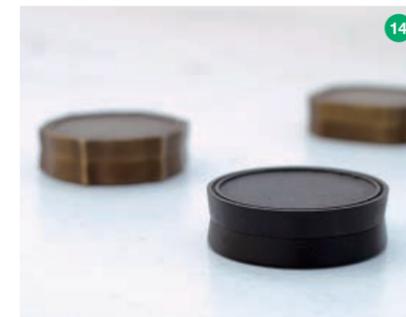
㈱PCO代表取締役



路面電車 セントラム

富山市の黒、シルバー、ホワイトのセントラムは、四季や人々の営みの色彩を際立たせ、街に品格を漂わせながら走る。絵の額縁のようなビル群にはさまれて、立山連峰が浮かびあがる中、セントラムが動くさまは、とりわけ美しい。
<http://www.city.toyama.toyama.jp/>

はね・ゆう／広報やコンベンションなどの企画・制作を通じて、県内の特産物やおみやげの開発にも関わる。越中富山 幸のこわけ委員、富山県特産品アドバイザーなど。



10 前田 一樹

富山大学芸術文化学部 大学院教授



丸山達平氏のルアーデザイン

氏の手掛けるルアーとは、人間の目ではなく、魚の目からデザインしたものである。海中の光と魚眼の関係、海中での流体からルアーの動きを設計、自ら漁師となり魚の専門家として製品開発をする、数少ないプロフェッショナルと言える。
<http://www.tappcraft.com/>

まえだ・かずき／「センバツ高校野球大会」優勝メダル、「びわ湖毎日マラソン」ポスター、「プラマーク」、和紙作品ギネス認定保持、New York ADC 金賞他、受賞多数
ロンドン国際広告賞 審査員

11 能作 克治

㈱能作 代表取締役社長



越中富山 幸のこわけ ロゴマーク

海と山に恵まれた風土や食、技に育まれる幸の数々を「おすぞわけ」の形と心に届けることをコンセプトに作られたおみやげの統一ロゴマーク。初めて富山空港で見かけた時、ユーモラスで落ち着きのあるロゴマークが目飛び込んできた。富山の人柄、文化、歴史をひと目で感じさせる素晴らしいデザインである。[デザイン:中山真由美]
<http://osusowake.toyamadesign.jp/>

のうさく・かつじ／福井県生まれ。大阪芸術大学、新聞社勤務を経て現職。金風浴解一級技能士。「素材とデザイン」をテーマにオリジナル商品を開発。現在、東京に直営店3店舗。

12 黒田 昌吾

漆工芸家・書家



三協アルミ「東京駅専用ビル用サッシ」

最近テレビで頻りに「東京駅丸の内駅舎」が紹介されています。サッシは三協アルミ製と知り、高岡のものづくりの技術に誇りがもてる大変うれしいニュースでした。木の風合いをアルミで表現し、シンプルで主張しすぎず、レンガ造りの外観とよく融合していると感じました。東京駅に行くたびに誇りに思い、県外の人にも自慢したいと思います。
<http://alumi-st-gr.co.jp/>

くろだ・しょうご／1963年高岡市生まれ。86年富山大学卒。[漆芸]日本クラフト展審査員特別賞。高岡クラフト展金賞。伊丹国際クラフト展優秀賞。朝日現代クラフト展招待出品。[書]日展入選。県展大賞。創文展理事長賞。毎日書道展毎日賞。

16 羽田 純

geibun gallery キュレーター/
グラフィックデザイナー



ダムダム団の弾丸

オトナな漢運のアマチュアロックバンド「ダムダム団」が、シンボルマークの弾丸を勢い余って実際に作った。県内の原型師や鋳物屋を駆使した、純富山産至極の一品だ。しかもここまで作ってにおいて、モノをろくに流通させなかった彼らの投げっぱりに「オトナ」を感じずにはいられない。
<http://www.dumdum.jp/>

はねだ・じゅん／大阪府生まれ。秋田公立美術工芸短期大学、富山大学芸術文化学部を経て、現在高岡市の芸文ギャラリーキュレーターを担当。地域の魅力を新しい切り口で編集・構築している。

17 島津 勝弘

島津環境グラフィックス(株)代表取締役
クリエイティブディレクター



光岡自動車「3輪EV自動車 ライク-T3」

光岡自動車から昨年未発売された3輪EV自動車。すでに佐川急便の佐川女子が都心を中心に配送するメインカーとして運用が始まっていて、まさに今の時代のニーズを捉えていて、配送車としてだけでなく、離島や高齢者の運用も期待される、新たなとやまデザインである。
<http://www.mitsuoka-motor.com/>

しまづ・かつひろ／公益社団法人日本サインデザイン協会/副会長、日本サイン学会/副会長、JUDI都市環境デザイン会議/北陸ブロック幹事、富山県・山梨県・上越市景観アドバイザー、医療環境デザインアドバイザー。

18 大井 久美子

㈱ストアインク
富山オフィス 編集部



越中富山 幸のこわけ

富山の「おすぞわけ」の風習を生かして、富山の良いものを集めてブランド化する視点が、とてもユニークだと思いました。また、富山のものだと分かりやすいロゴ、統一感のあるパッケージデザインが好きです。[デザイン:中山真由美]
<http://osusowake.toyamadesign.jp/>

おおい・くみこ／月刊「フリーマガジンFavo」富山版・呉西版の編集ページを担当。富山県内に溢れている様々なヒト・モノ・コトを、Favo独自の視点で紹介する。

19 岸本 耕平

Kohei Glass Studio 薫 代表



女傳かまぼこ ロゴマーク

富山の名産品であるかまぼこの、長年受け継がれてきた歴史の重さを感じさせるデザイン。かまぼこの由来である、植物の「蒲の穂」からイメージして作り上げられたデザインであり、なおかつスタイリッシュ。伝統と美しさを併せ持ったとやまデザインだと感じました。
<http://www.onnaden.co.jp/>

きしもと・こうへい / 1983年兵庫県加古川市生まれ。2008年富山ガラス造形研究所研究科修了、同年富山ガラス工房所属。11年4月「Kohei Glass Studio 薫」設立。12年KOGANEZAKI器のかたち VESSELS 黄金崎グランプリ。



20 高田 博

㈱タカタレムノス代表取締役



FUTAGAMI「鍋敷き」

弊社にとって、鋳造した後、研磨、切削して完成品にする事に囚われて、素地の美しさという価値観を忘れてしまっていたようです。大治将典さんの工場に寄り添ったディレクションの、いさぎの良さ、明快さ、そして目論見を敬驚に思えばかりです。
<http://www.futagami-imonos.co.jp/>

たかた・ひろし / 1951年生まれ。㈱タカタレムノス代表取締役。置掛時計を主とするインテリア商品の企画製造販売を行っている。㈱高田製作所取締役副社長。



21 下川 一哉

日経デザイン編集長



FUTAGAMI「錆肌のカトラリー」

㈱二上は、デザイナーの大治将典氏とともに、真鍮を使った生活雑貨の開発に努めている。仏具などに長年使ってきた素材を使って、新しいモノ作りに挑んで成果を上げている。中でもFUTAGAMI「錆肌のカトラリー」は、食事に使う道具に真鍮を採用した点で新しい。素材の特徴がフォルムや表情からにじみ出ている。
<http://www.futagami-imonos.co.jp/>

しもかわ・かずや / 1963年佐賀県生まれ。88年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年、日経マグロービル(現・日経BP社)入社。94年に日経デザイン編集部配属。99年より副編集長。2008年より編集長。



25 山田 遊

㈱メソッド代表取締役/バイヤー



FUTAGAMI 栓抜き「粹」

大治将典さんによるシンプルなデザインが好みで、自宅でも愛用しているFUTAGAMIの栓抜き「粹」。内側の真鍮の錆肌が経年変化していく様や、キッチンに立てて置いた際の佇まいが魅力。また、手に持った際の金属の質感も程良い。
<http://www.futagami-imonos.co.jp/>

やまだ・ゆう / 東京都生まれ。南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、methodを立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動始める。DESIGNTIDE TOKYOのディレクターとしても活動中。



26 鈴木 啓太

プロダクトデザイナー



HiHillブランドの取り組み

HiHillプロジェクトは、編集の時代と呼ばれる今のものづくりを予言するかのように、2000年に生まれたプロジェクトです。ここで再編集されたアーカイブは、富山県が未来を創るために大きな意味を持つ素晴らしいものです。※HiHillとは…一高岡の「技術を売る」一 漆、金属、ガラスの表明処理技法のマテリアルプレート。新しいカタチを生み出す素地として提案。<http://hihill.media-pro.co.jp/>

すずき・けいた / 1982年愛知県生まれ。PRODUCT DESIGN CENTER 代表。新しい定番を目指すブランド「THE」の代表でもある。



27 近藤 康夫

近藤康夫デザイン事務所



ピーター・アイビー氏「JAR/PASTA」

富山ガラス工房が代表するように富山と言えばガラスに熱心な土地です。昨年の夏に出会ったピーター・アイビー作「PASTA」は、伝統的なガラス工芸がもつゆさや、あやうさというより、力強さを感じる現代の「用の美」を感じました。
<http://peterivy.com/>

こんどう・やすお / 1950年東京都生まれ。東京造形大学卒業。三輪正弘環境造形研究所、クラマタデザイン事務所を経て独立。元九州大学大学院教授。東証アローズで毎日デザイン賞受賞。



22



23



24



28



29

Photo:Takumi Ota



30

22 名見耶 秀美

デザインプロデューサー/
アッシュコンセプト㈱代表取締役



立山酒造(株)の純米吟醸「立山」

富山空港を降りると、正面に「立山」がある。冬にはめったに顔を出してくれないが、晴天に出会うと、心が弾む。雄大な立山連峰の山並みを見ると、富山県が迎え入れてくれた嬉しい気持ちでいっぱいになり、当然、その夜は、正直な酒造りの純米吟醸「立山」で一献。
<http://www.tateyamabrewing.jp/>

なごや・ひでよし / 生活者とデザイナーが楽しめるモノ創りをめざし、デザイナーとのコラボレートブランド「+d」を世界に向けて発信。その他、デザインコンサルティング・地場産業振興コンサルティング等をてがける。武蔵野美術大学客員教授。

23 長山 智美

インテリアスタイリスト



廣貫堂の置き薬

富山出張の帰りに楽しみにしているのが富山空港内に売店のある廣貫堂さんの置き薬。普段は見掛けることのない置き薬の小袋はどう見ても昭和30年代まっ只中デザインです。いつもジャケ買いなのですが、パッケージはともあれ頭痛薬、風邪薬などは携帯にも便利。これがバッグから出てきたらみんなビックリですよ!
<http://www.koukandou.co.jp/>

ながやま・ともみ / インテリアスタイリスト。雑誌のインテリアページのスタイリングやショップ内装、商品セレクトなどを手掛ける。

24 佐藤 康三

プロダクトデザイナー



㈱タカタレムノス
「アイスクリームスプーン15.0%/01.vanilla」

見ているだけで、ほほえんでしまう。とてもかわいらしい。なにか、こどもとのたのしい話がきこえてきそう。すぐれたデザインフォルムは、ややこしい理屈をこえて、確かに、ボクたちにひびの生活のゆたかさや、あたらしい経験を話しかけてくれる。そこにあるだけで。
[デザイン:寺田尚樹] <http://www.lemnos.jp/>

さとう・こうぞう / 1951年東京都生まれ。73年渡伊、B・ムラーリに師事し、76年ミラノ工科デザイン学校(SPD)ID卒。R・Bonetto studio勤務後、81年KDS設立。法政大学デザイン工学部教授。

28 澄川 伸一

プロダクトデザイナー/
澄川伸一デザイン事務所代表



㈱能作 フラワーベース「ようなし」

一度見たら忘れることができない独特の存在感。五十嵐さんらしい「ほっとするフォルム」とこの錫の清涼感のある質感が融合して、今まで見たこともない、とても美しい「オブジェ」として完成されています。錫の表面に映り込んだ葉のグリーンもきれいそうですね。[デザイン:五十嵐久枝]
<http://www.nousaku.co.jp/>

すみかわ・しんいち / 東京都生まれ。千葉大卒。ソニー勤務後独立。世界57カ国の滞在経験をいかして、先端機器から浴槽、クラブまで広範囲のモノをデザイン。富山プロダクトデザインコンペ2005大賞受賞。2012REDDOT賞受賞など。

29 廣田 尚子

ヒロタデザインスタジオ代表
女子美術大学教授



㈱ナガエ「naft sprinkle」

昨年夏、三重県の温泉施設アクアグニスで離れのインテリアコーディネイトをした際、兼ねてからデザイン性の高さで気に入っているnaft sprinkleを検討。残念ながら壁面強度の関係で採用できませんでしたが、今は弊社オフィスの廊下壁面で愛用しています。[デザイン:倉本仁]
<http://naft-design.com/>

ひろた・なおこ / 東京都生まれ。ヒロタデザインスタジオ代表。女子美術大学教授。オリジナルブランドビジネスをベースにプロダクトデザインを手掛ける。

30 SOMA DESIGN

ディレクター/デザイナー



KANAYA「トレイシリーズ SO+01」

高岡銅器400年に受け継がれる金属鋳造技術を活かし、産声を上げたばかりのブランドです。その魅力は確かな技術に裏打ちされたデザインへの新たな挑戦が特徴です。この商品は元来の鋳造技術への挑戦から生まれた「鋭」、「薄」、「軽」の脚部と、日々の気分で交換可能な日本の花からインスピレーションされたトレイ構成が魅力です。
<http://www.kanaya-t.jp/>

そーまでざいん / 2006年ファッション、グラフィック、プロダクト、映像などヴィジュアルディレクション及びデザイン活動を開始。2007年春夏より東京コレクションに参加する「SOMARTA」のショープロダクションからアートディレクションを手掛ける。